

首都圏新都市鉄道株式会社

代表取締役社長 柚 木 浩 一 様

東京駅延伸及び
都心部・臨海地域地下鉄新線との
接続に係る要望書

つくば市

つくばみらい市

守谷市

流山市

三郷市

八潮市

足立区

荒川区

柏市

貴社におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営状況がひっ迫するなか、安全で安定した運行に御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、去る令和4年7月5日に、貴社へ「東京駅延伸等に係る要望書」を提出し、同年8月3日に貴社より回答書を拝受したことを受け、令和4年8月16日に、つくばエクスプレス沿線7都市首長懇談会を開催し、要望に対する回答について協議をいたしました。

同会議において、オブザーバーとして御参加いただいた東京都中央区より、都心部・臨海地域地下鉄構想について、東京都が昨年度に「都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画検討会」を設置して検討を進めていること、また、同構想が、東京都で検討が行われている路線の中でも、重要度が高い計画であるとの認識が示されているとの御報告をいただき、つくばエクスプレスとの接続を早急に、かつ、より具体的なものにして事業検討を進めていくことが必要であるとの共通認識を持つに至りました。

さらに、令和4年11月25日には、東京都が都心部・臨海地域地下鉄構想の事業計画案を公表しました。この中で、東京駅（仮称）を起点としたルート・駅位置及び概算事業費・事業性等が示されたほか、常磐新線（TX）延伸との接続については、国際競争力強化の拠点であるつくば国際戦略総合特区と臨海部との対流促進が図れるとともに、事業性の向上も見込まれるため、今後検討していく旨が明記されました。

令和4年8月3日の貴社の回答では、輸送人員についてコロナ禍前の水準への回復が期待しがたく、安定経営の継続が困難になる可能性を懸念しておられましたが、つくばエクスプレスの東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続は、新規利用者の獲得及び輸送人員の増強につながり、ひいては貴社及び沿線自治体の持続的発展と、貴社の経営

安定化及び企業価値向上に資する事業であると確信しております。

このため、改めて以下の要望をいたします。

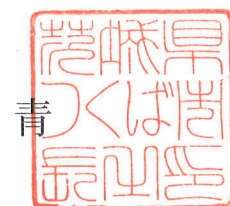
● 東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続について

貴社におかれましては、早急に「都心部・臨海地域地下鉄構想事業計画検討会」の事務局を担う東京都、及び、同構想に関する調査検討を実施している東京都中央区と連携を図り、東京駅延伸及び都心部・臨海地域地下鉄新線との接続案における、事業費や需要予測、費用便益等の調査を速やかに実施し、調査結果について情報提供をいただきますよう、強く要望いたします。

令和5年2月16日

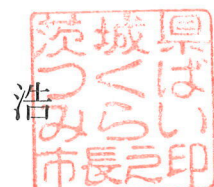
つくば市長

五十嵐 立



つくばみらい市長

小田 川



守谷市長

松丸 修



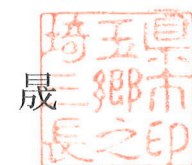
流山市長

井崎 義



三郷市長

木津 雅



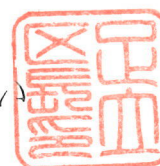
八潮市長

大山



足立区長

近藤 やよい



荒川区長

西川 太一郎



柏市長

太田 和

